



2月園だより

2023年2月
尚徳福祉会
沼袋西保育園
園長

授業中にすわって話を聞ける集中力は 遊びやコミュニケーションの中で育てる

主婦の友社 3～6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる(2010年)
東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏

とても寒い日が続いていますが、暦の上ではもうすぐ春です。子ども達は寒さに負けず、戸外でしっかりと身体を動かして遊んでいます。

2月3日は節分です。子ども達を取り巻く社会は変わっていきませんが、日本古来の伝統的な行事は大切にしていきたいと思えます。「鬼は外！福は内！」ぜひご家庭でも親子で元気いっぱい豆をまき、鬼をコロナを追い出しましょう。

今年度も残り2ヵ月となりました。今時期、どのクラスも友達との関りがとても楽しそうです。友だちと顔を見合わせ笑いあったり、友だちの真似をして一緒にのこをしたり、友だちとイメージを共有しながらなりきってごっこ遊びをしたり、時には自分の思い通りにならず、悔しいこともあります。保育園という社会の中で様々な経験をすることで、沢山のこを学んでいます。このクラスで過ごす時間もあとわずか。これまで以上に一日一日を大切に子ども達と過ごしていきたいと思えます。



☆2月の予定☆

- 1日(水) 避難訓練
 - 3日(金) 節分
 - 7日(火) 幼児身体計測
 - 8日(水) 乳児身体計測
 - 9日(木) 0歳児健診
 - 10日(金) 世界を知ろう(ブルキナファソ)
 - 15日(水) 3歳懇談会
 - 16日(木) 4歳懇談会
 - 17日(金) あおぞら安全教室(4・5歳)
5歳懇談会
 - 21日(火) 0歳児健診
 - 24日(金) サッカー教室(ゆり組)
- ※13・27日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

☆3月の主な予定☆

- 1日(水) 避難訓練
 - 3日(金) ひなまつり
 - 6日(月) 乳児身体計測
 - 7日(火) 幼児身体計測
 - 8日(水) 0歳懇談会
 - 9日(木) 卒園式総練習
0歳児健診・1歳懇談会
 - 10日(金) 2歳懇談会
 - 18日(土) 卒園を祝う会(ゆり組)
 - 23日(木) 0歳児健診
 - 24日(金) 幼児お別れ遠足
 - 29日(水) 5歳児5園交流(ゆり組)
- ※13日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

☆お知らせ・お願い☆

○お子さまに発熱や呼吸器症状等がある場合は登園を控えていただき症状によっては受診をして登園の可否の確認をお願いいたします。又、同居のご家族に発熱等の体調不良が認められる場合は、お子さんもご家庭の様子を見ていただきますようお願いいたします。

○2/10(金)、世界を知ろう「ブルキナファソ」を開催します。青年海外協力隊として現地に住んでいた経験をもつ女性の方に来ていただき、ブルキナファソの国についてお話ししてもらいます。(対象：幼児)給食もブルキナファソ料理となります。

○2月中に幼児組クラス懇談会、3月に乳児組クラス懇談会を行います。どちらもZOOMで開催いたします。日程近くになりましたら、ZOOMのIDとパスワードをお送りいたします。16時15分から行います。事前にお迎え可能な方はご協力をお願いいたします。音声のみの参加も可能です。沢山の方に参加いただければと思います。

○2/13(月)～2/25(土)の期間、実習生が入ります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○2/24(金)はサッカー指導です。(対象：ゆり組)東京都サッカー協会からトレーナーが来園します。

○保育園をお休み、もしくは遅れて登園される場合は当日の朝9:30までにご連絡をお願いいたします。

6～7歳の集中力には限界があり 学校も変化し始めている

小学校に入学したのに、席にすわってられない子、立ち歩く子がふえてきた。一それが問題となったのは1990年代のことです。「授業が成立しない」「学級崩壊だ」と大騒ぎになりました。そのせいで、「うちの子、授業中にちゃんとすわってられるかしら」と不安になるお母さんもふえてきたと感じます。

結論からいえば、あまり不安になる必要はありません。「6～7歳くらいの子どもは、集中して授業を聞けないものだ」という考えは、ある程度学校現場にも浸透してきました。

そのため、幼稚園とのギャップを埋める活動に積極的な自治体もふえてきていますし(幼小一貫教育)、席にすわっていなくてもできる授業、参加型の授業(アクティブ・ラーニング)を取り入れる小学校もふえてきました。

その背景には、「先生が一人で話し、子どもたちが黒板の文字を写す」という授業形態が、あまり高い学習効果をもたらさないとわかってきたことがあげられます。自主的に考え、質問し、まわりの子と話し合う中で学ぶほうが、深い理解が得られるのです。お母さんたちが子どもころのような学校ではなくなりつつあるので、まずは安心していただいで大丈夫です。

授業中にじっとすわってられるためには 大胆な遊びを

学校でじっとすわって先生の話聞くことを準備させるのであれば、幼児期に木登りや川遊びなど、ダイナミックで冒険性のある遊びをどんどんやらせてください。年長になったら、「お母さん、助かるわあ」と感謝しながら、家の手伝いもしてもらってください。

幼児は長い時間、じっとすることが苦手ですが、「木登りがしたいから」「鬼につかまりたくないから」とみずからの意思で、じっとがまんすることを覚え、集中力をつけていくのです。

幼稚園や保育園によっては、行儀作法が大事とい

う方針で、長い時間すわらせている園もありますが、毎日じっとしていることを強制されているということは、遊びたい気持ちをがまんさせられ、自分の気持ちを抑え込むことを要求されることです。そのようなことをしていると、子どもの好奇心や「やりたい！」と思う気持ちを伸ばしていくことはできないでしょう。

幼稚園でも保育園でも、目いっぱいわんぱくに遊ばせるけれども、お昼の時間や帰りの会の時間だけはちゃんとすわらせる、ということをやっているほうが学校生活に対応でき、集中力だけでなく、やる気や能力も伸ばせるでしょう。

集中して話を聞き、話す練習をしよう

授業中に先生の話集中して聞くためには、親子で集中したコミュニケーションの練習もやっておくといいでしょう。

他人の話聞くことは、自分の話をしっかり聞いてもらう体験をベースとしています。ですから年中、年長になったら、親から一方的に「これをしなさい！」というような指示命令調ではなく、「どうしてケンカしちゃったの?」「あら、そうだったの?」「それでどうしたいの?」というようなコミュニケーションを心がけます。

子どもの目をしっかり見て、子どもに意見を言わせ、共感しながら聞くような会話をします。「聞く」「共感する」「考える」というコミュニケーションをしていると、自分の意見をしっかり話すことや、お母さんの言うことをしっかり聞くことが大事だということを学習するのです。

それが、先生の話もちゃんと聞いて理解しようという態度のベースになっていきます。

